

2019年は
行かなきゃ
ソラソラ
どんどん変わる
動物園

きみは本当の京都を知っているか?!

「京都の森」は、京都の豊かな自然を伝え、ヒトと野生動物の関わりを学ぶゾーンとして、平成 27 年にオープンしました。琵琶湖疏水の水が流れる小川や棚田があり、隣接するエリアには野生鳥獣救護センターもあります。

京都の森

シカとの
共存
可能なの?



近年シカによる生態系被害がふえ、年間約1万5千頭(平成29年度)が駆除されています。農作物の被害も深刻です。京都の森では、防鹿柵を展示し、人とシカの共存についても課題提起をしています。

京都ホテルネットワークの皆さんと一緒に、過去に園内でも観察されていたゲンジボタルを復活させる取り組みに挑戦しています。水路にカワニナを放流するところから始めた「ホテルプロジェクト」。2018年6月には、京都の森で初めてのホテルの羽化がみられました。

ホテル
プロジェクト
着々と

身近な生きものたち



京都市動物園には、野生鳥獣救護センターが併設され、けがをした野生の鳥類と哺乳類の救護活動を行っています。回復して自然復帰ができるようになった生き物たちは適切な場所に放しています。平成30年度の救護件数は85件でした。

イ
チモンジタナゴ
にかける
みなの夢



かつて琵琶湖や琵琶湖水系にたくさん暮らしていたイチモンジタナゴ。卵を産む季節には、体全体が美しい色に変わることも有名です。池や川できれいな色柄がキラキラと光る姿を再び見られる日はくるのでしょうか。

た
な田で
つくる
無農薬のお米



無農薬・無施肥でのお米づくりをしています。

3枚ある水田でのお米づくりも5年目。環境教育の一環として、精華大学の学生さん、地元の小学校児童、一般市民の皆さんと一緒に、田植えから稲刈りまで、無農薬・無施肥でのお米づくりをしています。

祇園祭のちまきに使用されるチマキザサ、葵祭に欠かせないフタバアオイなど、京都の文化を支える植物がシカに食べられて減っています。チマキザサ、フタバアオイ、絶滅危惧種のキクタニギクを移植し、植物の生物多様性保全にも取り組んでいます。

さがしてみよう! 歴史スポット

1 観覧車

昭和 31 (1956) 年に完成した、本州にある現役最古の観覧車です。高さは 12m あります。八角

2 噴水池の橋は遺跡

八角九重塔に使われていた石材が、噴水池の橋として使われています。この噴水池は、明治 36 年の開園当初から変わっていない数少ない場所のひとつです。

3 大正時代の石碑

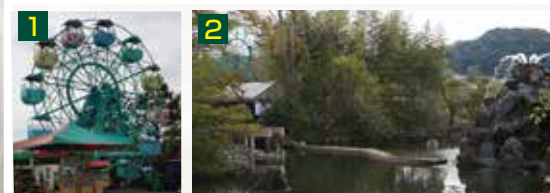
大正 4 年に建てられた「法勝寺九重塔跡」の石碑が園内にあります。京都検定にも出たそうです。

4 白川絲櫻橋の親柱

白川にかかっていた絲櫻橋の親柱が京都の森にあります。西洞院川にかかっていた魚棚通の橋の親柱もあります。

5 九重塔(解説パネル)

平安時代後期、この場所に大きなお寺と高い塔がありました。高さ 81 メートルもの八角九重の塔で、今の観覧車のある場所に建っていました。



八角九重塔復元CG・立面図
復元考証: 富島義幸・CG制作: 竹川浩平

